

図書館だより

岩手県立大学メディアセンター

編集・発行：岩手県立大学
 教育研究支援室 図書グループ
 TEL: 019-6942070
 FAX: 019-6942071
 PR誌第16号 平成22年12月発行

開館カレンダー



12月27日(月)～1月6日(木)は冬季休業期間中のため、平日の開館時間が17:00までとなります。

また、12月28日(火)～1月4日(火)は年末年始休館日です。

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

- 通常開館日 9:00-21:00
- 短縮開館日 9:00-17:00
- 休館日

新着図書紹介①



★棚はこちら

『悪人』吉田修一 著

3階開架
新着図書

出演者がモントリオール世界映画祭で、最優秀女優賞を受賞したことでも大きな話題となった、映画「悪人」の原作。

「新聞小説とはかくも面白いものだったのか！
 様々な視点を交代させて高速回転する万華鏡のよう
 にすすむ物語。その全体を上から見下ろす視点
 はない。」 (本書帯より)

『【新釈】走れメロス』

★棚はこちら

：他四篇』
 森見登美彦 著

3階開架
新着図書

太宰治の「走れメロス」他四篇を原作に、森見登美彦が新たにつづった物語。

“ 怒り狂う長官をよそに、芹奈は悠然と珈琲を
 すすった。
 「俺の親友が、そう簡単に約束を守るとするな
 よ」 “ (本書「走れメロス」より抜粋)

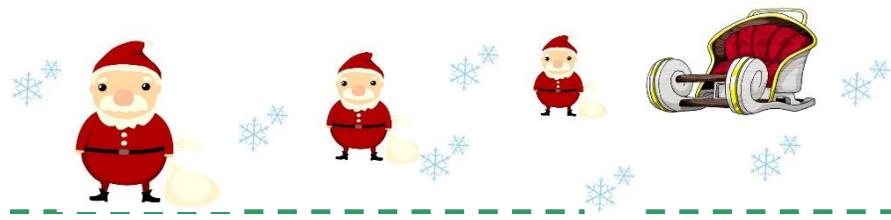
参考文献：

朝日新聞社.『朝日新聞』2010年9月12日(日)12版 2ページ
 毎日新聞社.『毎日新聞』2010年9月8日(水)統12版 社会面 24ページ
 財団法人文字・活字文化推進機構HP「2010年国民読書年に関する決議」

http://www.mojikatsuji.or.jp/link_5dokushonen2010.html

(2010年11月25日参照)

新着図書紹介②



ミニ
ニュー
ス

2010年も今月で最後。すっかり葉が落ち、県大へ続く桜並木も枝の姿を明らかにしています。この季節は岩手山に積もる雪や月がきれいですね。

さて、今月は新着図書が多数入りました！気になる本を年末年始にいかがでしょうか？

(掲載図書は新着コーナーにおいた後、それぞれの請求記号に合わせた所定の場所へ再配架致します。)

『明日の水は大丈夫？： バケツ1杯で考える「水」の授業』 橋本淳司 著

★欄はこちら

3階開架
新着図書

“トイレの水からごはんの水、パレスチナの水、水道水の危機など、水をめぐるイロイロを「バケツ1杯=人間1人が日生きていくのに必要な量」で考えます。”(本書ブックジャケットより)

『旅の夢かなえます： だれもがどこへでも行ける旅行をつくる』 三日月ゆりこ 著

★欄はこちら

3階開架
新着図書

“おたがいに一人の人間として向き合って、「旅行がしたい・障害がある。さあ、どうするか」という一点に向かって、切磋琢磨する姿がありました。”(本書あとがきより抜粋)

『医療事故： 知っておきたい実情と問題点』 押田茂實 著

★欄はこちら

3階開架
新着図書

“<医療事故>の実態と真相を網羅
あなたができる予防と対処法
医療事故研究者の第一人者が教える最新危機管理
マニュアル”(本書帯より)

『ブレクスルーの科学者たち』 竹内薫 著

★欄はこちら

3階開架
新着図書

“本書は科学者やエンジニアの卵だけでなく、学生やビジネスマンにこそ読んでもらいたい。なぜなら、われわれが社会で直面する「壁」を突破するためのヒントが、科学者たちの「ブレクスルーの法則」に隠されているからだ。”
(本書「はじめに」より抜粋)

「国民 読書年」

「年齢や性別、職業等を越えて活字離れ、読書離れ」が進んでいることへの危機意識から、2001年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」、2005年には「文芸・活字文化振興法」を制定した国会。読書活動の一層の発展を目指し、「文芸・活字文化振興法」制定5年後の2010年を、「国民読書年」と決めました。

「車離れ」に「理系離れ」など、さまざまなバリエーションがある「〇〇離れ」。とりわけ耳にする機会が多い「活字離れ」「読書離れ」は、今や国会を動かすほどの深刻な事態になっているのですね。

